

内田周平 しゅうへい 漢學者。安政四年七月七日遠江國生乳、昭和十九年十一月、千二百歳（八七一—九四四）。字仲準。號吾醒廬主人、帆影女、遠湖、遠湖居士、遠湖老人、遠湖迂士、遠湖迂夫、遠湖道人等。

著書「名家文話（第壹編）」（合著・内田鐵二郎編、明治二十二年五月、千二百鐵華書院）、  
「若林海齋先生事蹟」（編、大正二年一月、千二百

滋賀・滋賀縣教育會）、  
「強齋先生の性行  
望月軒遊士の學風」（大正二年七月、千二百

滋賀・滋賀縣教育會）、  
「東北游録」（再版、昭和四年四月、千二百

谷門精舎）、  
「矢口謙齋傳  
澤溪階和集」（昭和七年六月、千二百谷門精舎）、  
「畫

園歌文鈔  
久良若神」（昭和八年九月、千二百谷門精舎）、  
「韻

九年四月、谷門精舎）、  
内田鑑子著「助舟集鈔」（編、昭和十年二月一

千二百谷門精舎）、  
尾藤肇著「一洲先生釋言」（内題「釋言」校、昭和

十年二月、千二百谷門精舎）、  
「頌水先生詩略」（編、昭和十年六月

十五日、谷門精舎）、  
「老寧打誤合纂」（昭和十一年五月十五日、谷門精

舎）、  
「止觀町公論編」「無窮記」（附「神樂校文止統」）（編、昭和十一年

十月十五日、谷門精舎）、  
山崎園樂  
淡見湖淵著「官守學叢書・英貳輯」（校、昭和

十二年八月、千二百大阪府學  
梅義會）、「遠湖文體」（全四冊

（昭和十五年四月、千二百止觀堂）、  
「辛未歲既感懷」（昭和十七年十

二月、印行）、  
「勤皇勅諭十小學之」（合著・東京新聞社編、昭和十八年

八月、千二百建設社）等。